

第2章 水産業と海洋関連産業のあらまし

26 大航海時代に図中の探検航路（ア）～（ウ）を率いた人物について、正しい組み合わせを選びなさい。 (p32)

- ① (ア) コロンブス (イ) バスコ・ダ・ガマ (ウ) マゼラン
- ② (ア) コロンブス (イ) 鄭 和 (ウ) マゼラン
- ③ (ア) マゼラン (イ) バスコ・ダ・ガマ (ウ) 鄭 和
- ④ (ア) マゼラン (イ) コロンブス (ウ) 鄭 和



27 船の用途による区分について、正しい組み合わせを選びなさい。 (p33)

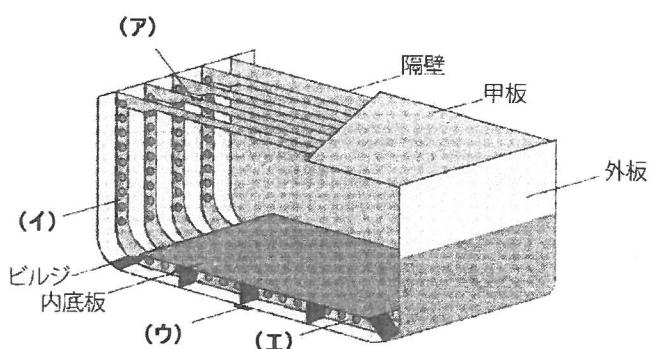
- ① 商船 ・・・ 旅客船、貨物船、タンカー、コンテナ船、フェリー
- ② 漁船 ・・・ しゅんせつ船、海底電線敷設船、引き船、巡視船
- ③ 特殊船 ・・・ モーターボート、ヨット、水上オートバイ
- ④ プレジャーボート ・・・ トロール漁船、巻き網漁船、捕鯨母船、冷凍運搬船

28 F R P 船の特徴として、正しいものを選びなさい。 (p33)

- ① アルミニウム合金を主要な材料としている。
- ② 軽量で強く、耐用年数が長く、工作や保守が容易である。
- ③ 大型船のほとんどがF R P 船である。
- ④ リサイクルや廃棄処分が容易である。

29 下図は船体の構造図を表している。キール（竜骨）はどの部分か、正しいものを選びなさい。 (p34)

- ① (ア)
- ② (イ)
- ③ (ウ)
- ④ (エ)



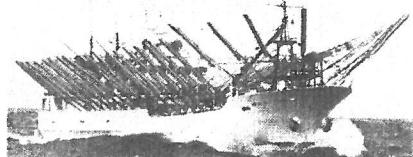
30 次の説明文にあてはまる漁船の写真として、正しいものを選びなさい。(p35)

「大型の網漁具でイワシ、アジ、サバ、マグロ類を巻いてとる漁船である。大型の網を使用するために船尾を広くとり、スリップウェイを設けてある。」

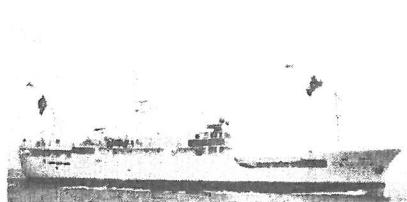
①



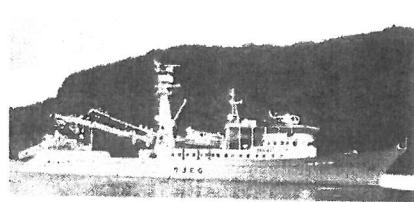
②



③



④



31 乗組員の編成と必要な資格について、誤っているものを選びなさい。(p38, 39)

- ① 甲板部、機関部、無線部の総責任者は船長である。
- ② 機関長は職員に分類される。
- ③ 甲板長になるためには、海技免状を取得しなくてもよい。
- ④ 航海士・機関士の海技免状は一級から三級の資格がある。

32 次の航海計器のうち、超音波を水平方向に発射することにより、魚群を探索するものを選びなさい。(p37, 42, 53)

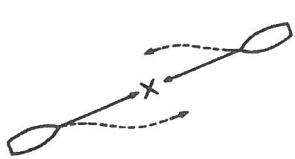
- ① 電子海図
- ② レーダ
- ③ 音響測深機
- ④ スキャンニングソナー

33 ガソリン機関とディーゼル機関で使用する燃料として、正しいものを選びなさい。(p43)

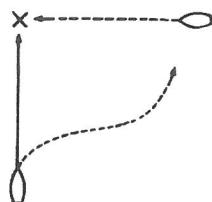
	ガソリン機関	ディーゼル機関
①	ガソリン	ガソリン
②	ガソリン	軽油または重油
③	軽油または重油	ガソリン
④	軽油または重油	軽油または重油

34 ①～④の航法と図について、正しい組み合わせを選びなさい。(p44, 45)

① 狹い水道等における航法



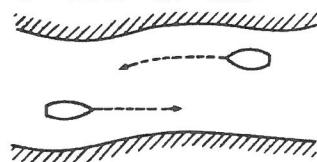
② 横切り船の航法



③ 行会い船の航法



④ 追越し船の航法



35 わが国で漁具の材料として麻糸を使ったり、魚を集めるためのかがり火を使用するなど、漁業の技術が発達したのは何時代からか、正しいものを選びなさい。(p47)

- ① 明治時代 ② 江戸時代 ③ 平安時代 ④ 石器時代

36 漁業の変遷について、誤っているものを選びなさい。(p47-49)

- ① 江戸時代から魚が農業用肥料として利用されるようになった。
② 江戸時代後期には、北海道方面でニシン漁が発達した。
③ 明治になってから漁具の改良は進み、漁業は沖合から沿岸へと発展した。
④ 第1次大戦以後、沖合・遠洋の漁業に重点が移るとともに、漁船の大型化が始まった。

37 世界の漁業・養殖業の生産量について、誤っているものを選びなさい。(p50, 51)

- ① 世界の漁業・養殖業生産量は、減少している。
② 世界的な水産物需要は、増大している。
③ 1990年代以降には、主に中国を中心として養殖生産量が増大している。
④ 世界の内水面漁業は全体の3割と高くなっている。

38 1948年以降の日本の漁業生産について、誤っているものを選びなさい。(p51, 52)

- ① 漁業生産量は、今まで増大している。
② マイワシの漁獲量が急増して、生産量が増えた時がある。
③ 沖合から遠洋へと漁場を拡大し、生産量が伸びた時がある。
④ 現在、漁業部門別生産量は、沖合漁業が一番多い。

39 日本の水産物の輸出入について、誤っているものを選びなさい。(p52)

- ① 日本の水産物の輸出額は大幅に輸入額を越えている。
② 世界の水産物貿易市場に占める日本のシェアは向上してきている。
③ 日本が輸出している水産物の品目ではサケ・マス類とホタテガイが大きく浮上している。
④ 日本は水産物をアジア地域に多く輸出している。

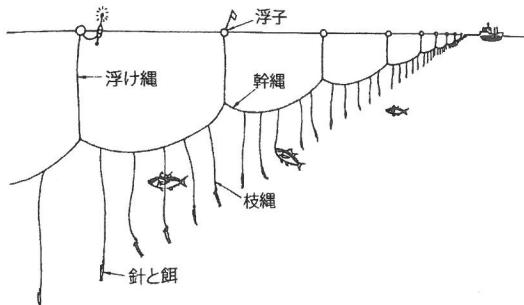
40 集魚法について、誤っているものを選びなさい。(p54-59)

- ① サンマ棒受網漁業は、光によって魚を集め、網で下からすくい揚げる。
- ② 魚を誘引する方法には、エサを海面にまいたり、かごの中に入れたりする方法がある。
- ③ カツオ一本釣りで使うシャワーは、追込網漁業の一つである。
- ④ 南太平洋では、カツオを集めるためにパヤオ(浮き魚礁)を設置する。

41 網漁業の説明として、正しい組み合わせを選びなさい。(p55-58)

- ① 刺網漁業・・・大きな群れをつくって回遊する魚を対象とし、網で巻いて漁獲する漁業である。
- ② 敷網漁業・・・船から2本の引綱で袋状の網を引き、その通路にいる魚介類をとる漁業である。
- ③ 引網漁業・・・網を水中に敷設して、その上に魚を集め、網を引き揚げて魚をとる漁業である。
- ④ 定置網漁業・・・垣網と身網からなる漁具を、一定の場所に設置し、回遊してきた魚を網の中に落とし入れる漁業である。

42 下図にあてはまる漁法について、正しいものを選びなさい。(p59, 60)



- ① さお釣漁業
- ② 延縄漁業
- ③ イカ釣漁業
- ④ 一本釣漁業